

間接オークション導入後における 運用容量の算出方法及び公表断面について

2018年9月21日

- 2018年10月に予定されている間接オークション導入に合わせ、広域機関の業務規程が変更される。(スライド3・4参照)
- この中で、別表12-1における「(d)連系線に関する情報」内の運用容量に関する記載も変更となる。これは「予想潮流」の項目を加えたことによるものであり、現行の運用容量の算出方法及び公表断面は、変更後の業務規程における要件を満たしている。



- 10月1日以降も、**運用容量の算出方法及び公表断面については現状通りとする。**

第12章 系統情報の公表

（系統情報の公表）

第168条 本機関は、法第28条の40第8号及び系統情報ガイドラインに基づき、広域連系系統の利用に資する情報を公表する。

2 前項により公表する情報の項目及び公表時期は、別表12-1に定めるところによる。

(d)連系線に関する情報

・空容量、運用容量、マージン、計画潮流

長期：第3～10年度の各年度での平常系統における最大需要時の値（最大需要時以外で空容量が小さくなると予想される場合、その断面の値を併記することができる）

年間：3か月先～第2年度末までの日別の昼間帯／夜間帯の値

月間：3週間先～2か月先までの日別の昼間帯／夜間帯の値

週間：3日先～2週間先までの30分ごとの値

翌々日：翌日～翌々日の30分ごとの値

当日～翌日：当日～翌日の30分ごとの値

第12章 系統情報の公表

（系統情報の公表）

第168条 本機関は、法第28条の40第8号及び系統情報ガイドラインに基づき、広域連系系統の利用に資する情報を公表する。

2 前項により公表する情報の項目及び公表時期は、別表12-1に定めるところによる。

(d)連系線に関する情報

・空容量、運用容量、マージン、予想潮流（※7）、計画潮流（※8）

長期：第3～10年度の各年度での平常系統における最大需要時の値（最大需要時以外で空容量が小さくなると予想される場合、その断面の値を併記することができる）

年間：3か月先～第2年度末までの各月平休日別の需要調達計画等の最大発生時の計画値、発電販売計画等の販売計画の最大発生時の計画値より算出した値

月間：3週間先～2か月先までの各週平休日別の需要調達計画等の最大発生時の計画値、発電販売計画等の販売計画の最大発生時の計画値より算出した値

週間：3日先～2週間先までの日別の需要調達計画等の最大発生時の計画値、発電販売計画等の最大発生時の計画値より算出した値

翌々日：翌日～翌々日の30分ごとの値

当日～翌日：当日～翌日の30分ごとの値